

## 特別展 御霊屋改修記念 尾張徳川家と菩提寺建中寺

2024年6月8日(土)～7月21日(日)

主催：徳川美術館・徳興山建中寺・中日新聞社

徳興山建中寺は、慶安3年(1650)に歿した尾張徳川家初代義直を供養するため、その子である2代光友によって建立されました。以来、尾張徳川家の菩提寺として歴代当主やその家族たちにより堂宇が建てられ、宝物が奉納されるとともに、代々の位牌を安置する御霊屋や墓所が造られ、遺品が納められました。現在も、歴史ある建造物や由緒ある文化財が、威容を誇った当時の様子を伝えています。

本展では、建中寺が所蔵する宝物を中核に、所縁の品々を通覧することで、尾張徳川家とともに歩んできた建中寺の歴史を紐解きます。また近年、修復が進められている建中寺の御霊屋についても紹介します。

- 都合により出品作品が変更になる場合がございます。
- 展示リストの順番は陳列の順番と必ずしも一致しません。
- 指定欄の「◎」は国宝、「○」は重要文化財です。
- 所蔵欄の「蓬左」は名古屋市蓬左文庫、無印は全て徳川美術館所蔵です。
- ※は前期6月8日(土)～7月3日(水)、後期7月4日(木)～7月21日(日)で展示替えます。

No.	指定 作品名・作者	所用者・伝来など	時代・世紀	所蔵者・展示替
-----	-----------	----------	-------	---------

## 第一章 建中寺のはじまり

1	徳川光友画像絵葉書 (名古屋温故会絵葉書第26輯「清浄寺絵葉書」の内)		昭和 20	
2	阿弥陀・獅子・牡丹図 (徳川光友夢中感得図) 徳川光友(尾張家2代)賛		江戸 慶安4年<1651>	
3	法然上人画像 茶屋長意寄進		室町-桃山 16	建中寺
4	建中寺鐘銘 林羅山撰 慶安四年月日		江戸 慶安4年<1651>	建中寺
5	建中寺領寄進状 建中寺住持職宛 慶安五年五月七日		江戸 慶安5年<1652>	建中寺
6	建中寺法式 慶安五年五月七日 附 黒塗葵紋牡丹唐草蒔絵箱		江戸 慶安5年<1652>	建中寺
7	建中寺境内絵図		江戸 17-18	建中寺

## 第二章 菩提寺としての歩み

8	紫衣勅許繪旨 建中寺住持廓呑上人御房宛 慶安五年六月二十二日		江戸 慶安5年<1652>	建中寺
9	六字名号 成譽廓呑(建中寺第1世)筆		江戸 17	建中寺
10	紺紙金字仏説阿弥陀経 成譽廓呑(建中寺第1世)筆		江戸 17	建中寺
11	刺繍種子阿弥陀三尊	成譽廓呑(建中寺第1世)招来	鎌倉 14	建中寺
12	釈迦名号 伝明正天皇筆	成譽廓呑(建中寺第1世)箱書	江戸 17	建中寺
13	◎ 葵紋蒔絵長持	千代姫(尾張家2代光友正室)所用	江戸 寛永16年<1639>	
14	瑞龍院殿墓誌 二枚一組		江戸 元禄13年<1700>	建中寺
15	建中寺境内絵図		江戸 18-19	建中寺
16	本堂(源敬公霊廟)棟札 天明六年八月十九日		江戸 天明6年<1786>	建中寺
17	建中寺境内絵図(貞慎院様御初建中寺江御参詣御補理方図面)		江戸 元治元年<1864>	蓬左
18-1	源敬公位牌・厨子		江戸 17	建中寺
18-2	瑞龍院殿位牌		江戸 17	建中寺
18-3	天祥院殿位牌		江戸 18	建中寺
18-4	供養具(前机・香炉) 一式		江戸 18-19	建中寺
19	色絵葵紋散蓮華形燭台 伝理兵衛作		江戸 17	建中寺

## 第三章 奉納された宝物・遺品

仏画・名号				
20	仏涅槃図 末永勝秀筆	勘解由小路(尾張家2代光友側室)寄進	江戸 17	建中寺
21	六字名号 伝法然筆	京姫(尾張家初代義直長女)寄進		建中寺
22	観音・鶴図 三幅対 徳川光友(尾張家2代)筆	徳川光友(尾張家2代)寄進	江戸 寛文元年<1661>	建中寺
23	五百羅漢図 五十幅の内 住吉慶舟筆	徳川宗睦(尾張家9代)寄進	江戸 寛政3年<1791>	建中寺 ※
24	仏号千遍 二巻 好君(尾張家9代宗睦正室)筆		江戸 安永6年<1777>	建中寺

## 経典

25	浄土三部経 四巻 梅小路(尾張家3代綱誠側室)筆 附 梨子地葵桐紋散蒔絵経箱		江戸 元禄12年<1699>	建中寺
----	---	--	----------------	-----

No.	指定 作品名・作者	所用者・伝来など	時代・世紀	所蔵者
26	紺紙金字法華経 八巻 輔君(尾張家4代吉通正室)筆		江戸 享保4年<1719>	建中寺
27	仏説阿弥陀経 猶姫(尾張家12代齊荘正室)筆		江戸 弘化3年<1846>	建中寺
28	般若心経 近衛忠熙筆		江戸 嘉永3年<1850>	建中寺
<b>刀剣</b>				
29	◎ 太刀 銘 国行 (通称「来太郎」)	千代姫(尾張家2代光友正室)所持	鎌倉 13	
30	刀 無銘 青江	徳川光友(尾張家2代)所持	南北朝 14	
31	脇指 銘 来国俊 正応五年十一月	徳川光友(尾張家2代)所持	鎌倉 正応5年<1292>	
32	黒石地塗刀拵	徳川光友(尾張家2代)所用	江戸 17	
33	黒石地塗脇指拵	徳川光友(尾張家2代)所用	江戸 17	
34	◎ 太刀 (菊紋) 菊一文字	徳川忠長(2代将軍徳川秀忠3男)・ 徳川義直(尾張家初代)所持、 徳川五郎太(尾張家5代)寄進	鎌倉 13	
35	刀 無銘 有俊	徳川宗春(尾張家7代)所持	鎌倉-南北朝 14	
36	小脇指 銘 則光	徳川宗春(尾張家7代)所持	室町 15	
<b>ゆかりの品々</b>				
37	◎ 初音蒔絵大角赤手箱	千代姫(尾張家2代光友正室)所用	江戸 寛永16年<1639>	
38	色絵犀形香炉 三口	徳川綱誠(尾張家3代)所用	江戸 17	建中寺
39	古銅鶏形香炉	徳川綱誠(尾張家3代)所用	江戸 17	建中寺
40	染付霊照女立像	徳川綱誠(尾張家3代)所用	明-清 17	建中寺
41	八枚張鍔塗兜 (鍔塗焦茶系威具足の内)	徳川光友(尾張家2代)着用	江戸 17	
42	洋犬玩具	徳川五郎太(尾張家5代)所用	江戸 18	建中寺
43	筒守	徳川治休(尾張家9代宗睦嫡子)所用	江戸 18	建中寺
44	徳川治休肖像 成瀬正泰筆		江戸 18	建中寺
45	黒塗葵紋付若松蒔絵懸盤		江戸 18-19	建中寺
<b>世俗画</b>				
46	紅葉に唐犬図屏風 六曲一双の内	和泉(尾張家3代綱誠側室)所用	江戸 17	建中寺
47	桜図 三十五幅の内 広瀬花隠筆		江戸 19	建中寺
48	十二月花短冊貼込手鑑 道晃親王筆	福君(尾張家11代齊温正室)所用	江戸 17	建中寺
49	花車図 神谷晴真筆		江戸 19	建中寺
50	蒙古襲来絵詞 (模本) 三巻の内 上巻 神谷元秋筆	徳川宗睦(尾張家9代)寄進	江戸 寛政8年<1796>	建中寺
51	竹に雀図 二幅対 狩野栄川院典信・養川院惟信筆		江戸 18	建中寺
<b>副葬品</b>				
52	葵紋付黄金造飾太刀拵 (瑞龍院殿墓所出土・復元品) 金具：徳川光友(尾張家2代)所用		昭和43年<1968>	
53	太刀 無銘 (瑞龍院殿墓所出土)	徳川光友(尾張家2代)所持		
54	脇指 無銘 (瑞龍院殿墓所出土)	徳川光友(尾張家2代)所持		
55	小脇指 銘 相模国住人貞宗建武二年正月日 奉納御宝前 生年甲午四十二歳 (瑞龍院殿墓所出土)	徳川光友(尾張家2代)所持	南北朝 建武2年<1335>	
56	剣 銘 来国光 (瑞龍院殿墓所出土)	徳川光友(尾張家2代)所持	鎌倉 14	
57	香木 (瑞龍院殿墓所出土)	徳川光友(尾張家2代)所用	江戸 17	個人蔵
58	太刀・拵金具 (晃禅院殿墓所出土)	徳川継友(尾張家6代)所用	江戸 17	個人蔵
59	青磁三ツ足香炉 (章善院殿墓所出土)	徳川宗春(尾張家7代)所用	明 16-17	個人蔵
60	神田明神祭礼図巻 二巻の内 巻三 (顕曜院殿墓所出土)	徳川慶臧(尾張家13代)所用	江戸 19	
61	尾張家臣双六 徳川慶臧(尾張家13代)筆 (顕曜院殿墓所出土)		江戸 19	
<b>コラム 尾張徳川家で管理されていた仏教関係遺品</b>				
62	當麻曼荼羅		鎌倉-南北朝 14	
<b>第四章 御霊屋修理—未来へ残すために—</b>				
63-1	御霊屋彩色見取図 本殿 組物(隅出組斗拱) 有限会社彩色設計製作		平成24-28<2012-16>	建中寺
63-2	御霊屋彩色見取図 合間 小壁(西面北間) 鳳凰 有限会社彩色設計製作		平成24-28<2012-16>	建中寺
63-3	御霊屋彩色見取図 唐門 天井(南側) 迦陵頻伽 有限会社彩色設計製作		平成24-28<2012-16>	建中寺

以上